

夏休みを楽しく過ごすために

学校では、もうすぐ夏休みに入ります。この期間は、子どもがたくましく成長する時期である半面、開放感から夜遊びや無断外泊などを繰り返し、補導される少年が最も多くなるのもこの時期です。

安全で楽しい夏休みにするためにも、子どもたちに規則正しい生活を送らせるとともに、「善・悪」の区別をしっかりと身につけさせ、規範意識を育てましょう。

また、今年5月には神奈川県川崎市で子どもを狙った凶悪事件が発生しています。こういった事件を未然に防ぐために「地域の子どもは、地域で見守る活動」にご協力ください。

○夏休みを快適に過ごすためのポイント

▶緊急連絡の方法を確認！

夏休みは、子どもの自主性・責任感を伸ばす良い機会でもあり、子どもだけで遠出を企画して出かけることもあるかもしれません。その場合、しっかりとした計画を立てさせ、危険なポイントを保護者がしっかりチェックをすることが重要です。

また、何かあった場合の緊急連絡先をしっかりと確認しましょう。

▷「誰と」「どこで」「何をして」「遊び」「何時に帰ってくるか」

夏は日が長いため、遊びに夢中になり約束の帰宅時間を過ぎるということもあるかもしれません。安平町は18時に防災無線でチャイムを鳴らし、子どもの帰宅を促しています。チャイムが聞こえづらい地区などでは特に「誰と」「どこで」「何をして」「遊び」「何時に帰ってくるか」を確認する習慣をつけましょう。

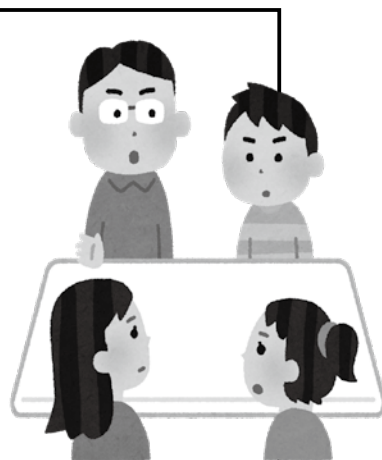
▶スマホにはフィルタリングを！

子どもたちの間にスマートフォンが急速に普及しており、電話機能よりも、メールをはじめゲームやSNSなどのインターネット機能を多く利用する傾向にあります。

夏休み期間中は使用時間が長くなるため、有害サイト（出会い系、アダルトサイト、ワンクリック詐欺）や無料通話アプリを通じて、子どもたちがサイバートラブルに巻き込まれるケースが後を絶ちません。

フィルタリングは、特定のサイトへのアクセスを制限するサービスですが、近年利用率が減少傾向にあります。保護者としては子どもから、「不便」、「友達から仲間はずれになる」などの言葉を聞いて解除するようですが、サイバートラブルは偶然に起こるものではなく、知識がなく、無防備で、自制心を好奇心が上回ったときに必然的に起こるものです。

子どもたちをサイバートラブルから未然に守るためにもフィルタリング設定は、子どもの性格や成長度合いに合わせて必ず保護者が設定しましょう。



安全で平和な町づくりを！

■防犯協会の活動

6月25日(火)に令和元年度安平町防犯協会総会が開催されました。来賓に及川町長、苫小牧警察署より生活安全課武部課長、早来駐在所宮岡所長をお迎えし、昨年度の活動報告、収支決算及び今年度の活動内容などを確認しました。

7月6日、7日に開催された「第11回あびら夏！うまかまつり」において、安平町防犯協会員をはじめ各学校PTAや防犯関係団体延べ約20名が協力し、会場内の巡回活動を実施しました。